



自主誠実

加古川市立神吉中学校

学校だより

校長室より

第43号

「1.17 希望の灯り 分灯式」に参加しました！

阪神淡路大震災の記憶をつなぐ「1.17 希望の灯り 分灯式」が1月10日（土）に神戸市中央区の東遊園地で実施され、本校からも生徒会執行部の3名の生徒が参加しました。この「希望の灯り」は、震災から5年後に、復興を願って全国から集められた種火を一つにして点灯されたものです。

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から、まもなく31年を迎えようとしています。震災を直接知らない世代へ記憶と教訓をつないでいくという思いを込めて、今年の阪神淡路大震災追悼行事では「つむぐ」の文字が灯篭で表現されます。



神吉中学校でも、震災でお亡くなりになられた方々を追悼するとともに、震災で培われた絆、支え合う心、優しさ、思いやりの大切さを次世代につないでいくために、分灯された「希望の灯り」を囲んで、「1.17 集会」を実施します。



「心の絆プロジェクト」生徒会代表者ミーティングに参加しました！

加古川市では、生徒会を中心にみんなの心の絆を深め、誰もが行きたくなる学校・学級づくりを目指す「心の絆プロジェクト」に取り組んでいます。

1月10日（土）には、加古川市民会館で「心の絆プロジェクト」生徒会代表者ミーティングが実施され、本校からも生徒会執行部の2名の生徒が参加しました。この会では、加古川市内中学校・義務教育学校12校の代表生徒が集まり、各校の取組を紹介したあと、「誰もが行きたくなる学校づくり」に向け、課題を解決するためのキーワードを出し合い、それをもとに、心の絆プロジェクトのテーマを考えました。

